

KVK

CODE 6484

2015年度決算概要と経営戦略

(2016.6.20)

株式会社 KVK

問い合わせ先: 企画部長 野原智

TEL: 058-293-0007

e-mail: info@kvk.co.jp

URL : <http://www.kvk.co.jp/>



〔注意事項〕

本資料記載の予想・見通しなどは、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、情報の正確性を保証するものではありません。

経営環境の変化などにより、実際の業績は当初の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 2015年度通期業績
2. 今後の経営戦略

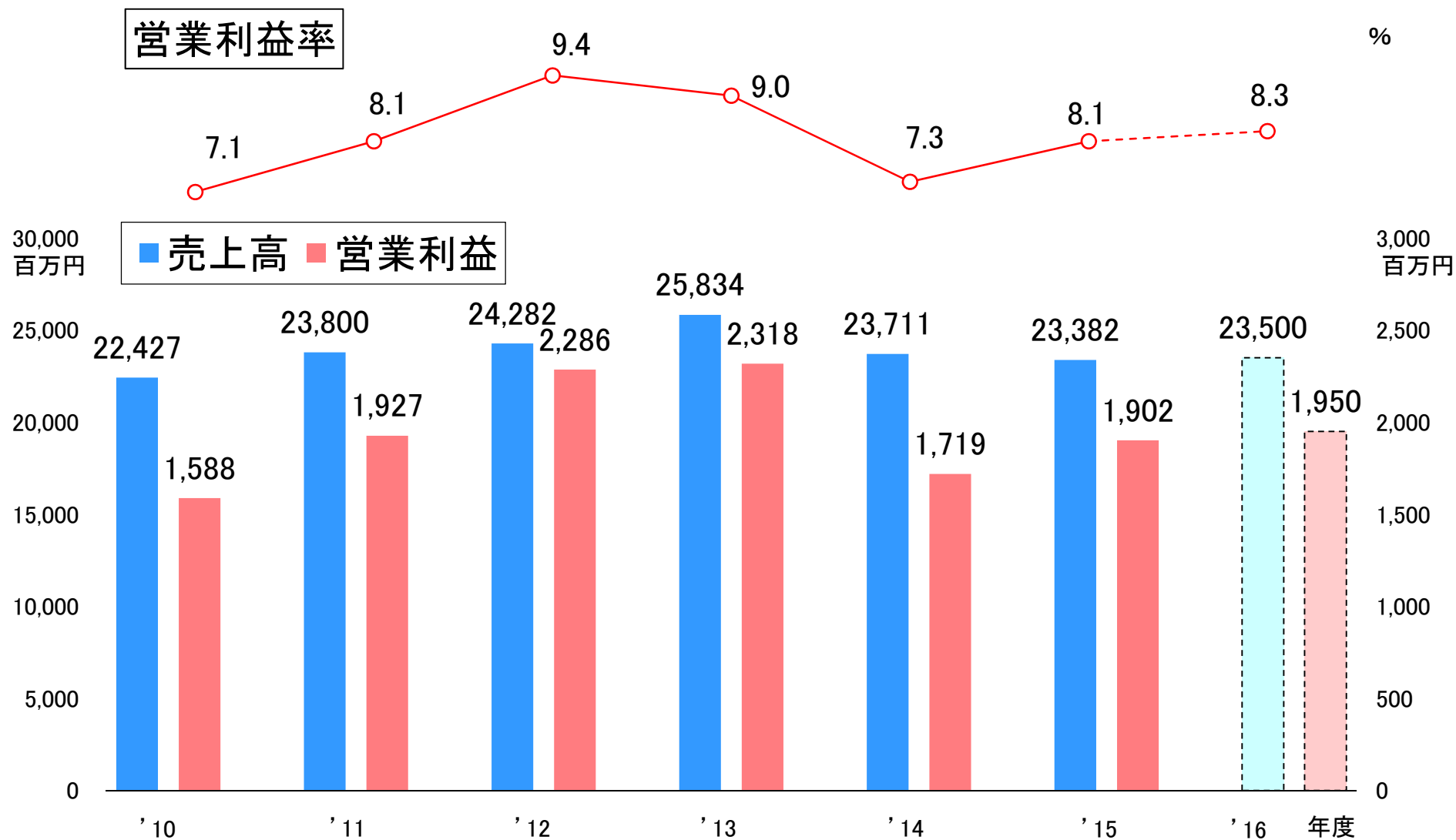
決算ハイライト (通期)

【連結】 (単位:百万円)	2014年度		2015年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	23,711	100.0%	23,382	100.0%	▲329	▲1.4%
営業利益	1,719	7.3%	1,902	8.1%	183	10.7%
経常利益	1,764	7.4%	2,009	8.6%	244	13.9%
当期純利益	1,040	4.4%	1,419	6.1%	379	36.4%
EPS	63.60	-	86.52	-	22.92	-

【単独】 (単位:百万円)	2014年度		2015年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	23,839	100.0%	23,492	100.0%	▲347	▲1.5%
営業利益	1,796	7.5%	1,534	6.5%	▲262	▲14.6%
経常利益	1,912	8.0%	1,648	7.0%	▲263	▲13.8%
当期純利益	1,187	5.0%	1,095	4.7%	▲92	▲7.8%
EPS	72.61	-	66.77	-	▲5.84	-

※2015年度より表示方針変更に伴い2014年度について遡及修正
 ※2015年度より当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益となります。

業績推移 (連結)

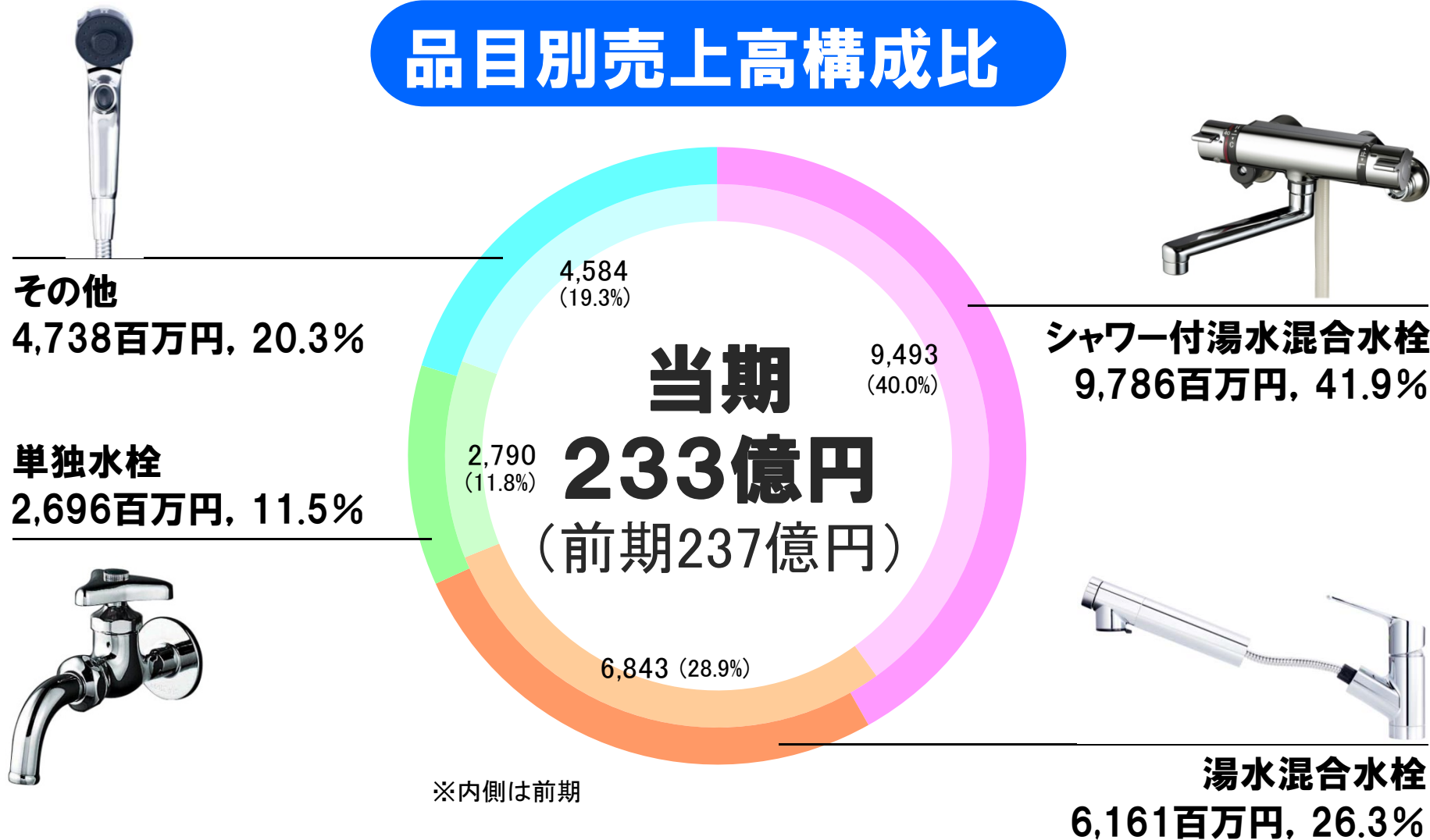


※2015年度より表示方針変更に伴い2014年度について遡及修正

(予想)

品目別売上高比較(連結)

品目別売上高構成比



その他
4,738百万円, 20.3%

単独水栓
2,696百万円, 11.5%

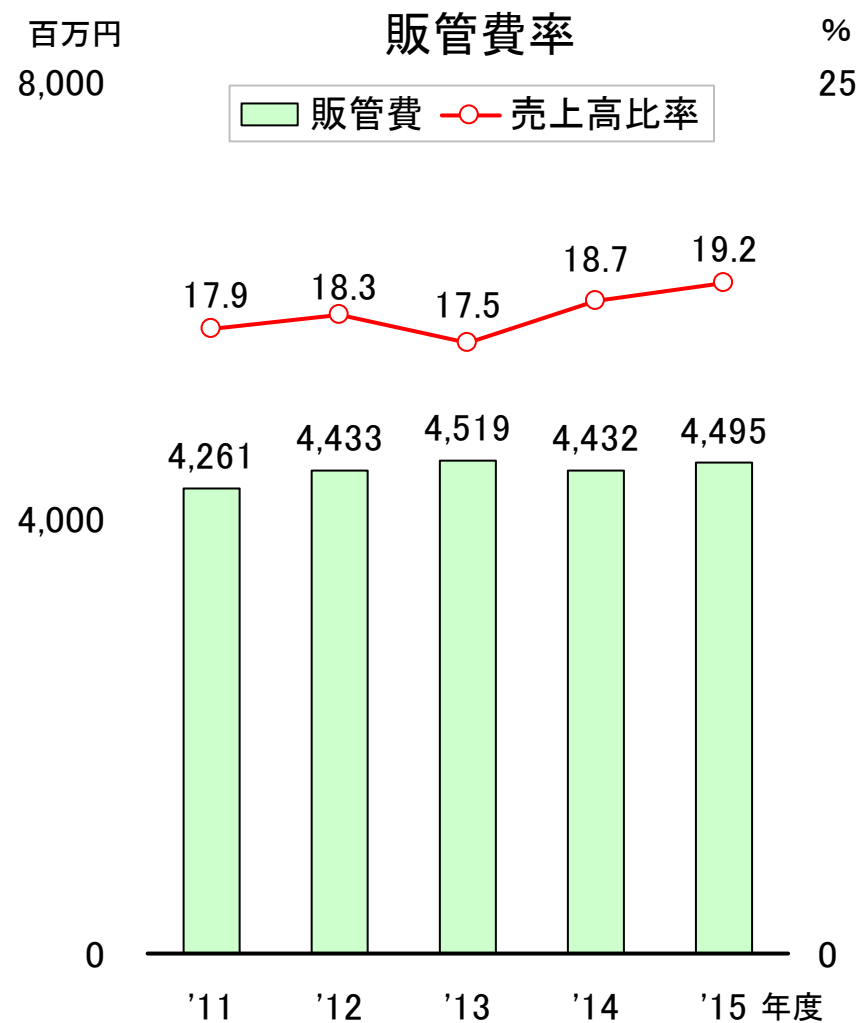
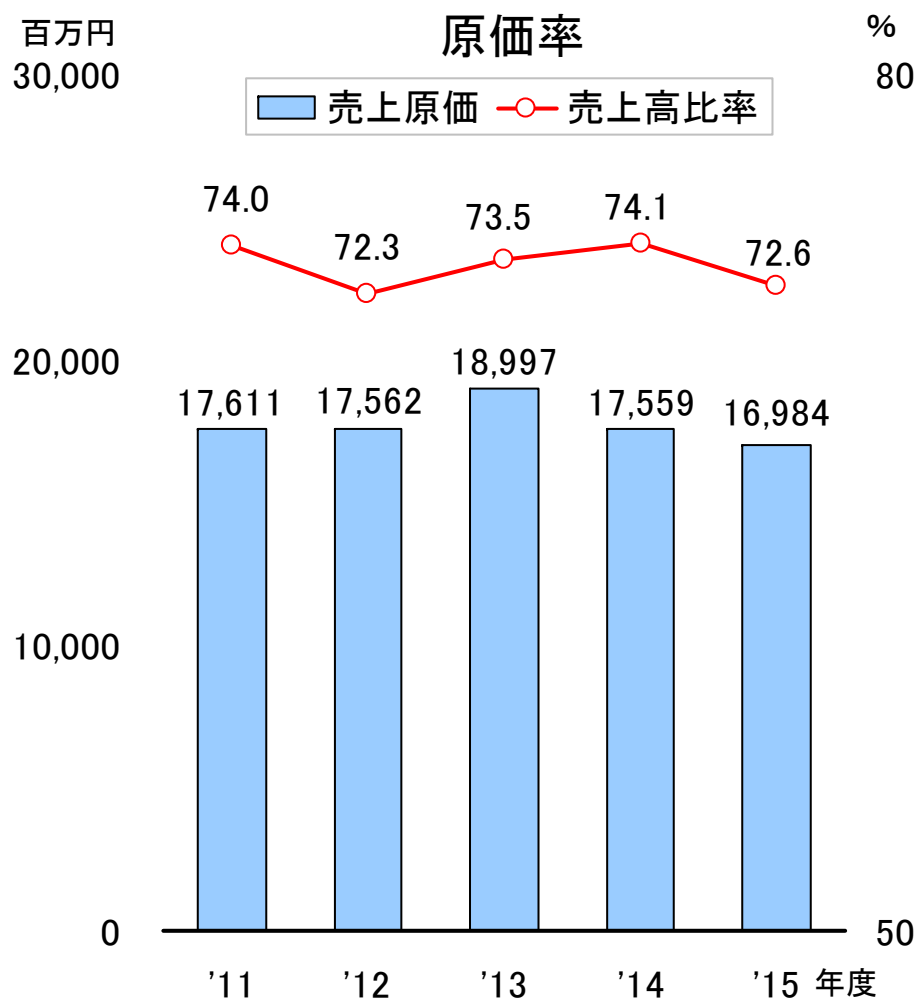


シャワー付湯水混合水栓
9,786百万円, 41.9%



湯水混合水栓
6,161百万円, 26.3%

原価率・販管費率 (連結)



※2015年度より表示方針変更に伴い2014年度について遡及修正

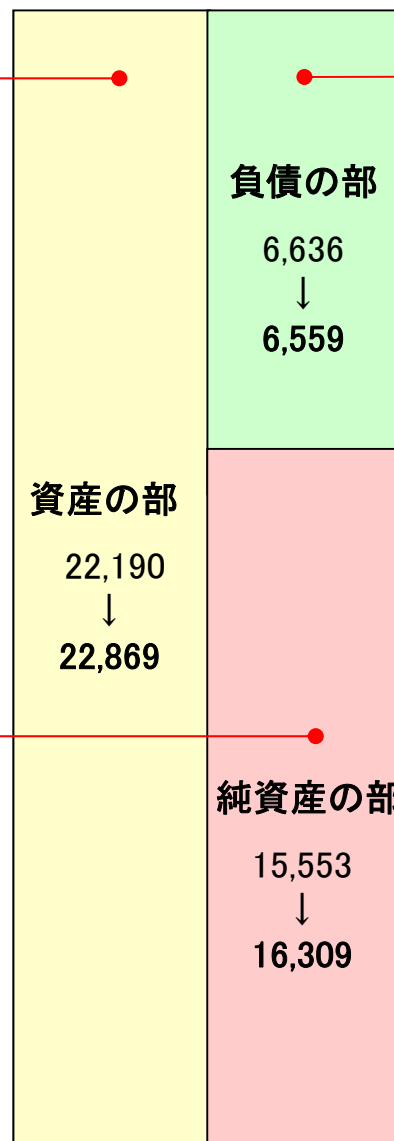
貸借対照表 (連結)

資産の部 +6億79百万円

流動資産は、前期末に比べ3億60百万円減少し、154億82百万円となりました。これは主に、たな卸資産の減少などによるものです。固定資産は、前期末に比べ10億40百万円増加し、73億86百万円となりました。これは主に、樹脂めっき設備、鑄造設備などの取得によるものであります。

純資産の部 +7億55百万円

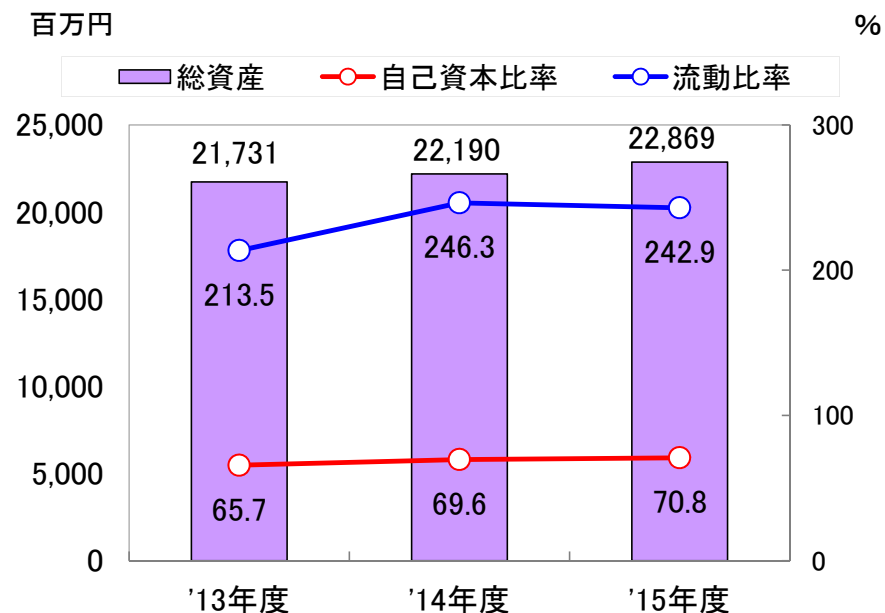
純資産は、前期末に比べ7億55百万円増加し、163億9百万円となりました。これは主に、当期純利益が上乗せになり、利益剰余金が11億3百万円増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末に比べ**1.2ポイント**増加し、70.8%となり、1株当たり純資産額は**42円1銭**増加し、986円48銭となりました。



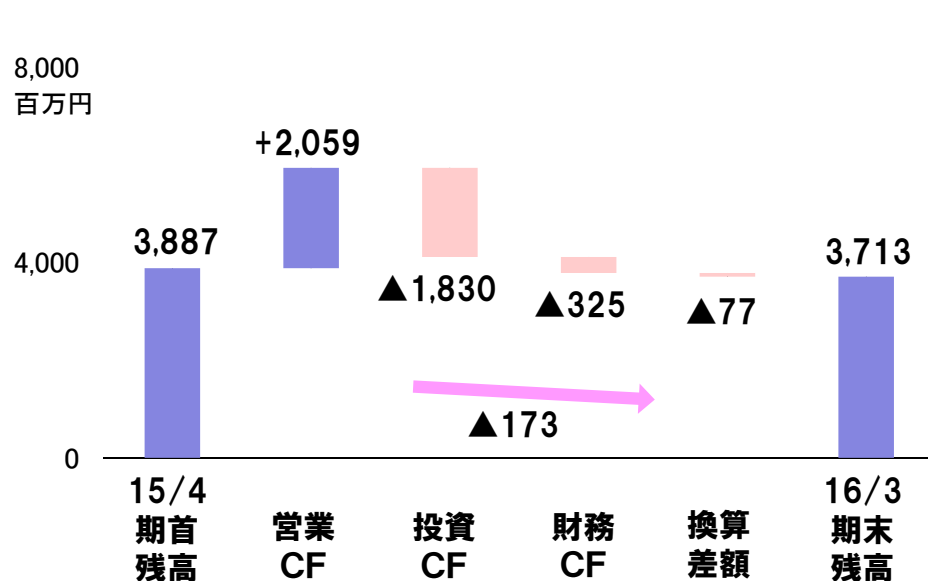
※単位: 百万円 前期末との比較

負債の部 ▲76百万円

流動負債は、前期末に比べ60百万円減少し、63億73百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものです。この結果、流動比率は前期末に比べ**3.4ポイント**減少し、242.9%となりました。固定負債は、前期末に比べ16百万円減少し、1億86百万円となりました。



キャッシュ・フロー (連結)



(単位: 百万円)

科目	'15/3	'16/3	増減額
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,716	1,983	267
減価償却費	708	666	▲41
減損損失	36	-	▲36
法人税等支払	▲711	▲497	214
運転資本	532	67	▲464
その他	185	▲161	▲346
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,467	2,059	▲407
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲209	▲1,830	▲1,620
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲327	▲325	1
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	▲77	▲121
現金及び現金同等物の増減額	1,974	▲173	▲2,148
現金及び現金同等物の期首残高	1,913	3,887	1,974
現金及び現金同等物の期末残高	3,887	3,713	▲173

※運転資本=売上債権の増減額+たな卸資産の増減額+仕入債務の増減額

営業活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、4億7百万円減少し、20億59百万円の収入となりました。これは主に、売上債権の増加などによるものであります。

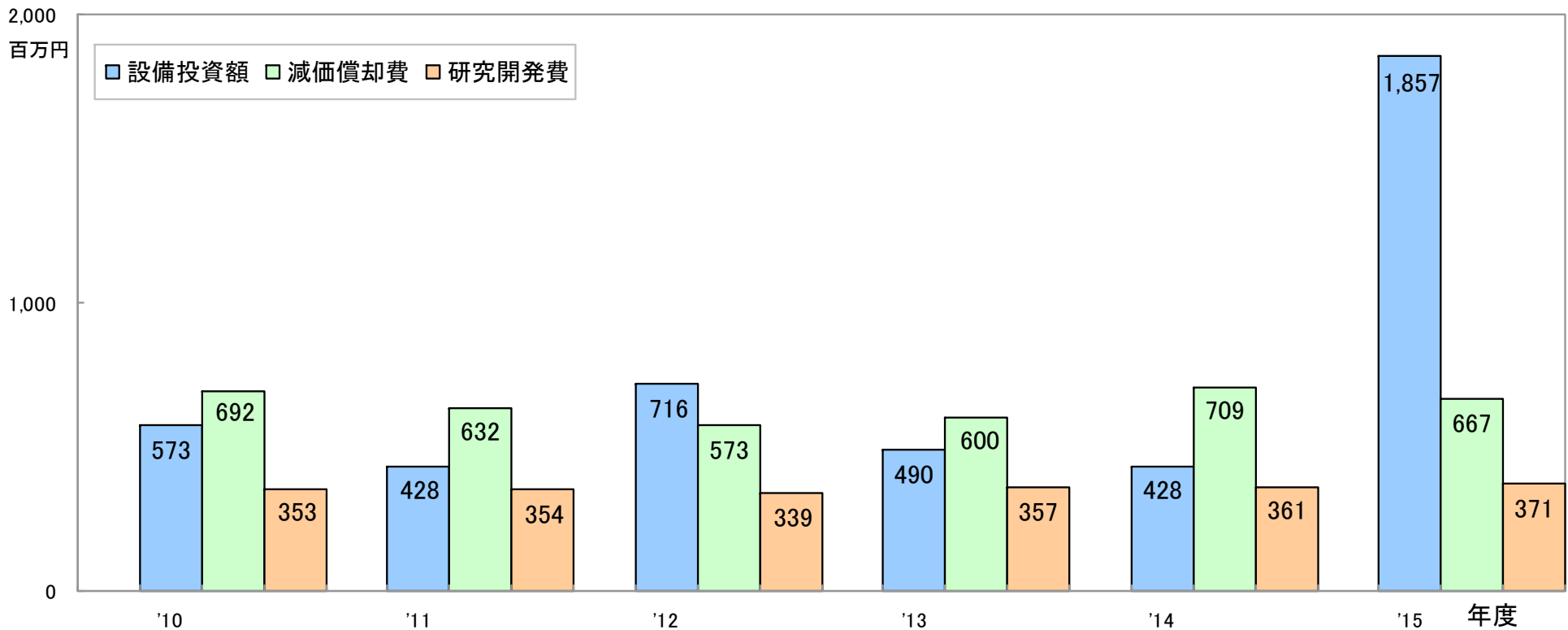
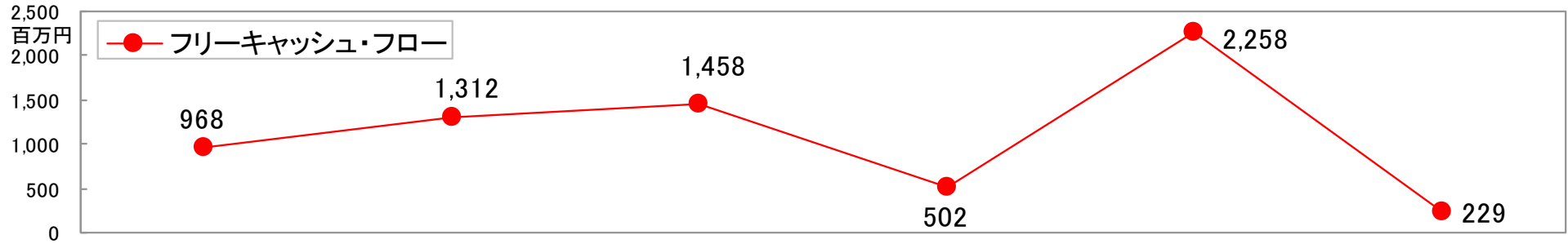
投資活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、16億20百万円増加し、18億30百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出の増加などによるものであります。

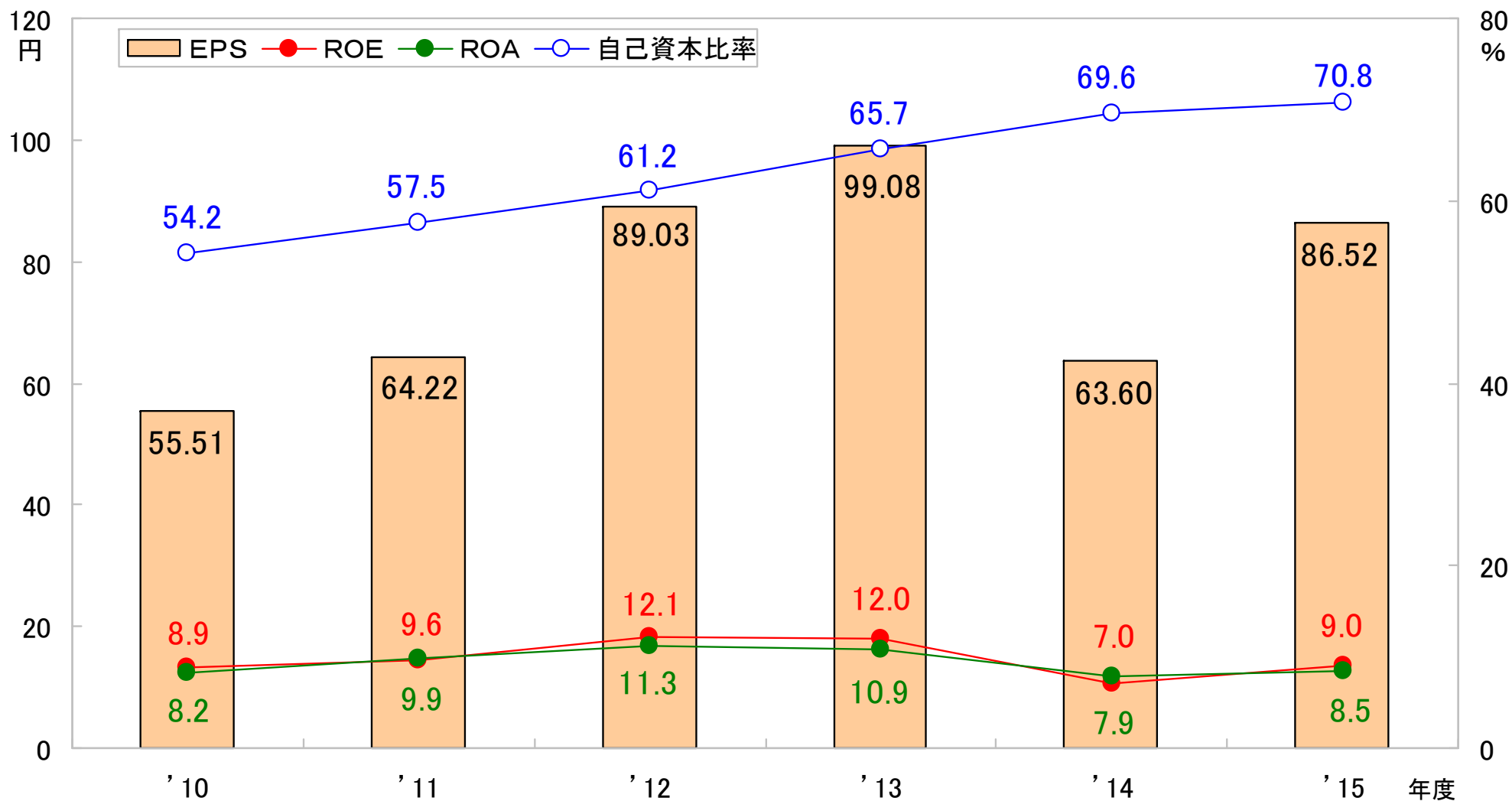
財務活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、1百万円減少し、3億25百万円の支出となりました。この結果、当期末の現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ1億73百万円減少し、37億13百万円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発費 (連結)



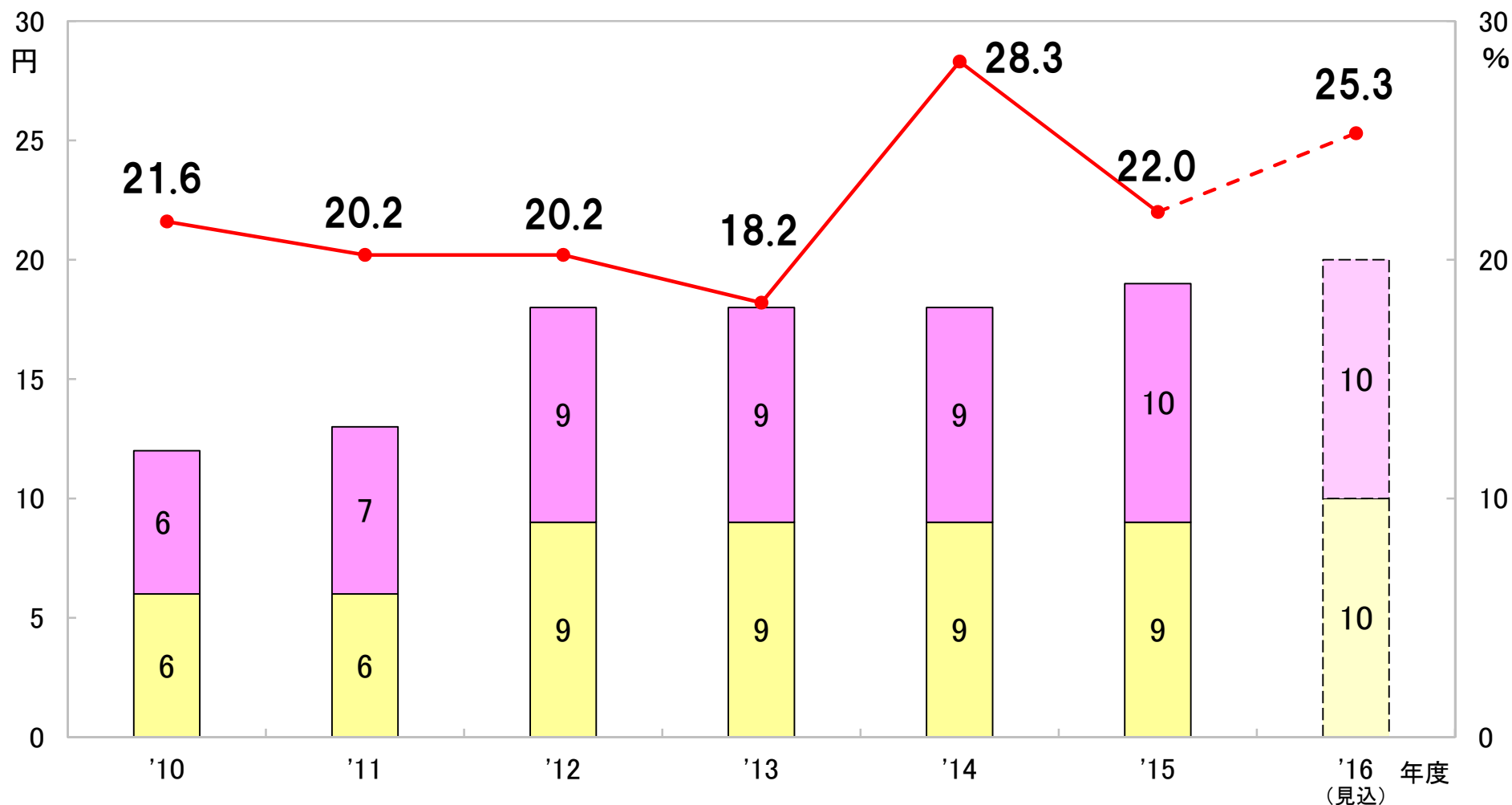
主要経営指標 (連結)



※2015年度より表示方針変更に伴い2014年度について遡及修正

1株当たり配当金

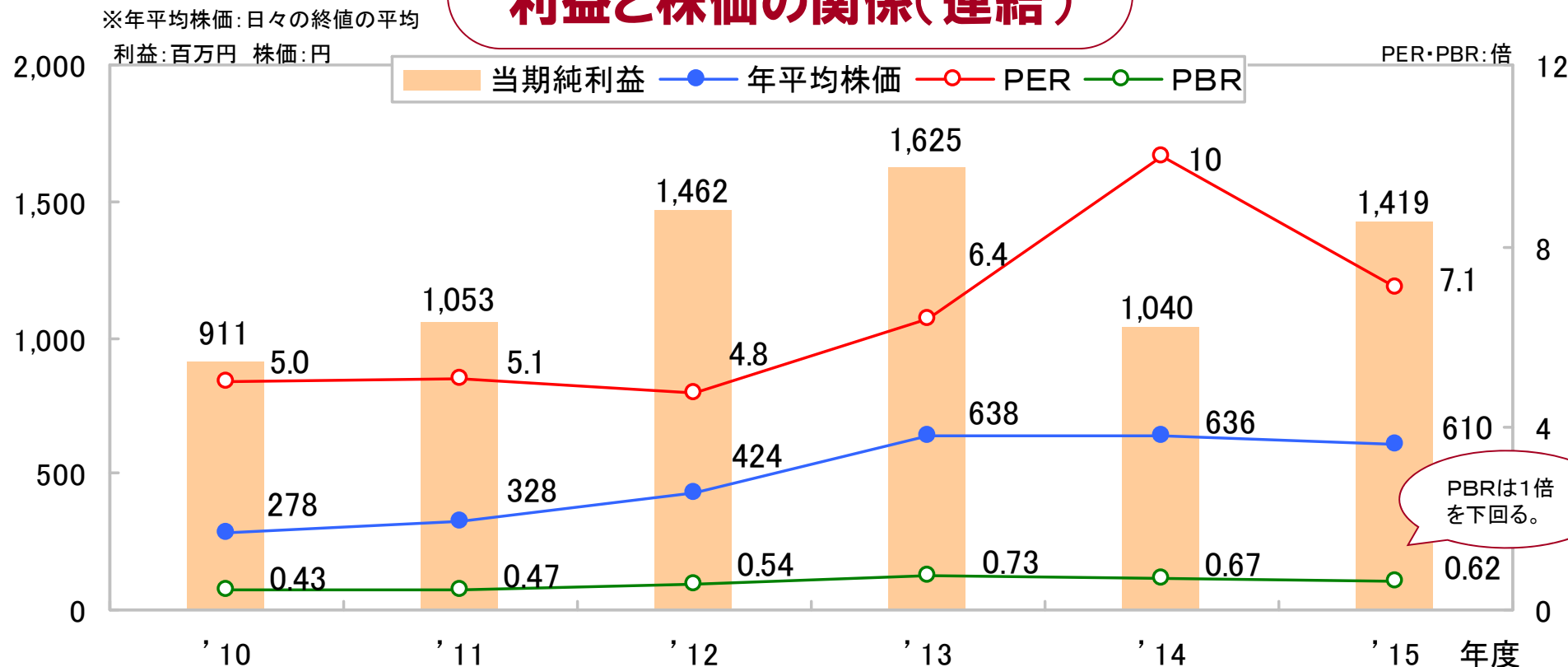
■ 中間配当金 ■ 期末配当金 -●- 連結配当性向



配当利回り(配当/株価)	4.3	4.0	4.2	2.8	2.8	3.1	3.6	%
株価	278	328	424	638	636	610	563	円

※株価:日々の終値の平均。'16年度配当利回りは'16/3/末終値(@563)で算出。配当性向:配当/1株当たり純利益

利益と株価の関係(連結)



1株当たり当期純利益	55.51	64.22	89.03	99.08	63.60	86.52
1株当たり純資産	639.22	693.66	780.90	872.62	944.47	986.48

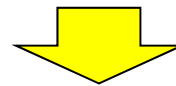
(PBR: 株価純資産倍率(1株当たり純資産に対し株価がどの水準にあるか示す指標: 株価/1株当たり純資産)
PER: 株価収益率(株価の割安度・割高度を判断する尺度: 株価/1株当たり利益)

時価総額(億円)	58.5	58.8	112.4	103.8	105.4	92.4
3/31終値(円)	357	359	685	635	645	563
自己株(株)	127,743	147,172	109,999	174,816	178,869	115,611

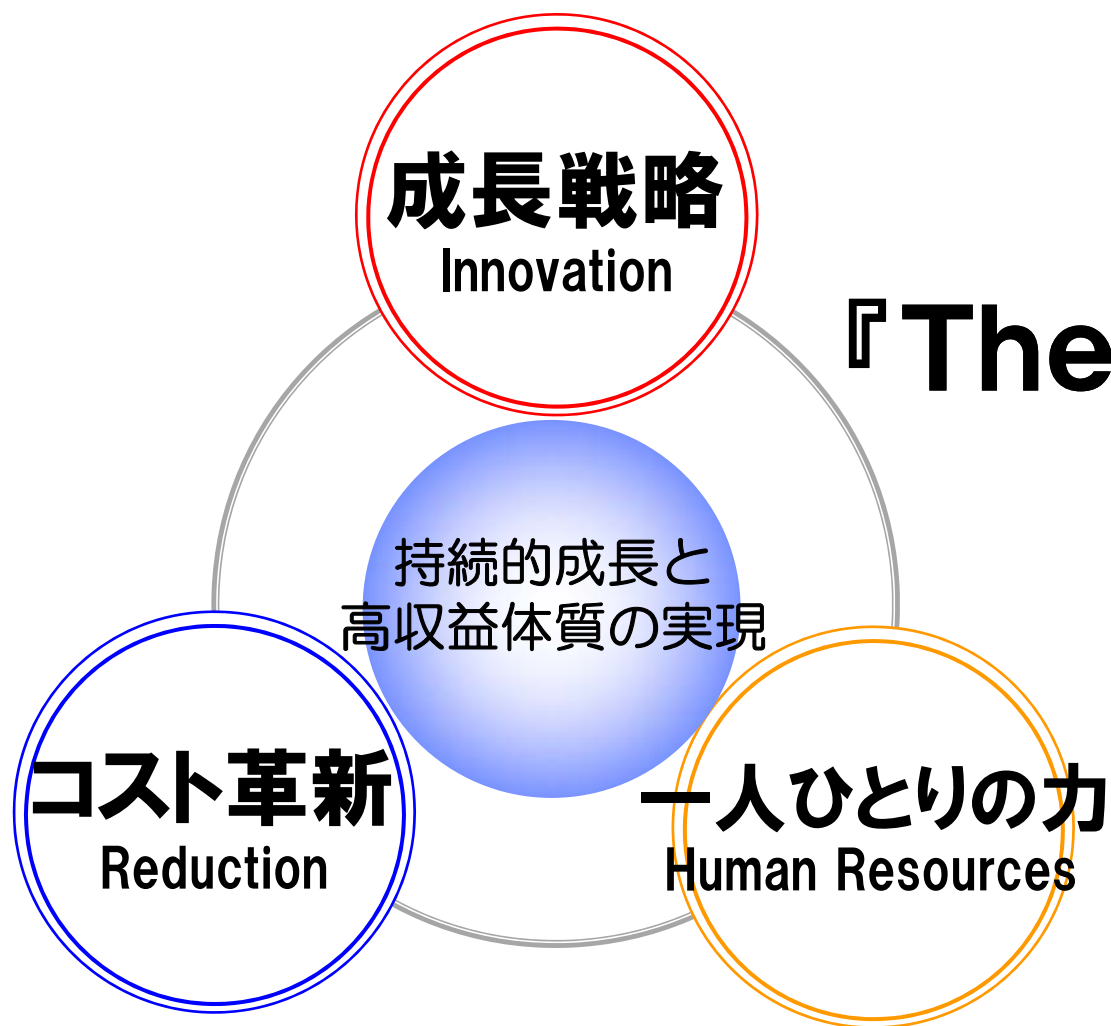
1. 2015年度通期業績
- 2. 今後の経営戦略**

KVKグループを取り巻く事業環境

- 為替・受注・材料価格の変動
- 少子化、高齢化 … 世帯数の減少により新設住宅の減少
- 量から質への住宅政策の転換
 - ーリノベーションの時代到来
 - ー震災による住宅価値観の変化(省エネ・防災・耐震性など)
- 安全安心、健康、心地よさ、環境共生への関心の高まり
- 他社との競合激化



- お客様の新生活スタイルを提案する市場創造型の商品・サービスづくり
- 変種・変量に対応できるモノづくり



『The Next Stage 80』 ～新たな挑戦～

市場創造型の商品づくり



市場創造型の商品づくり



KF3070

ボタンを押すだけで湯水を出し止めできる浴室用ワンタッチ式吐止水サーモ水栓(楽ガス水栓)



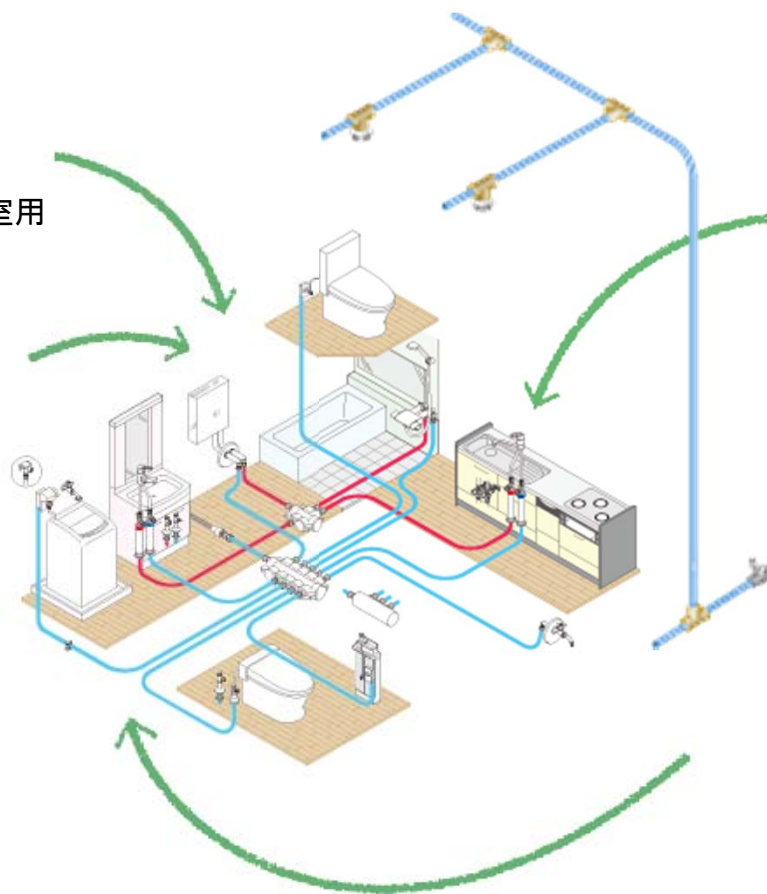
PZK12SSF

可変ハンガー・後付タイプ



ARB380

(エアブレンドシャワーヘッド)



KM6071EC

手をかざすだけで吐止水できるセンサー付シングルレバー式水栓



E1700L3

センサー水栓

販売戦略・重点施策

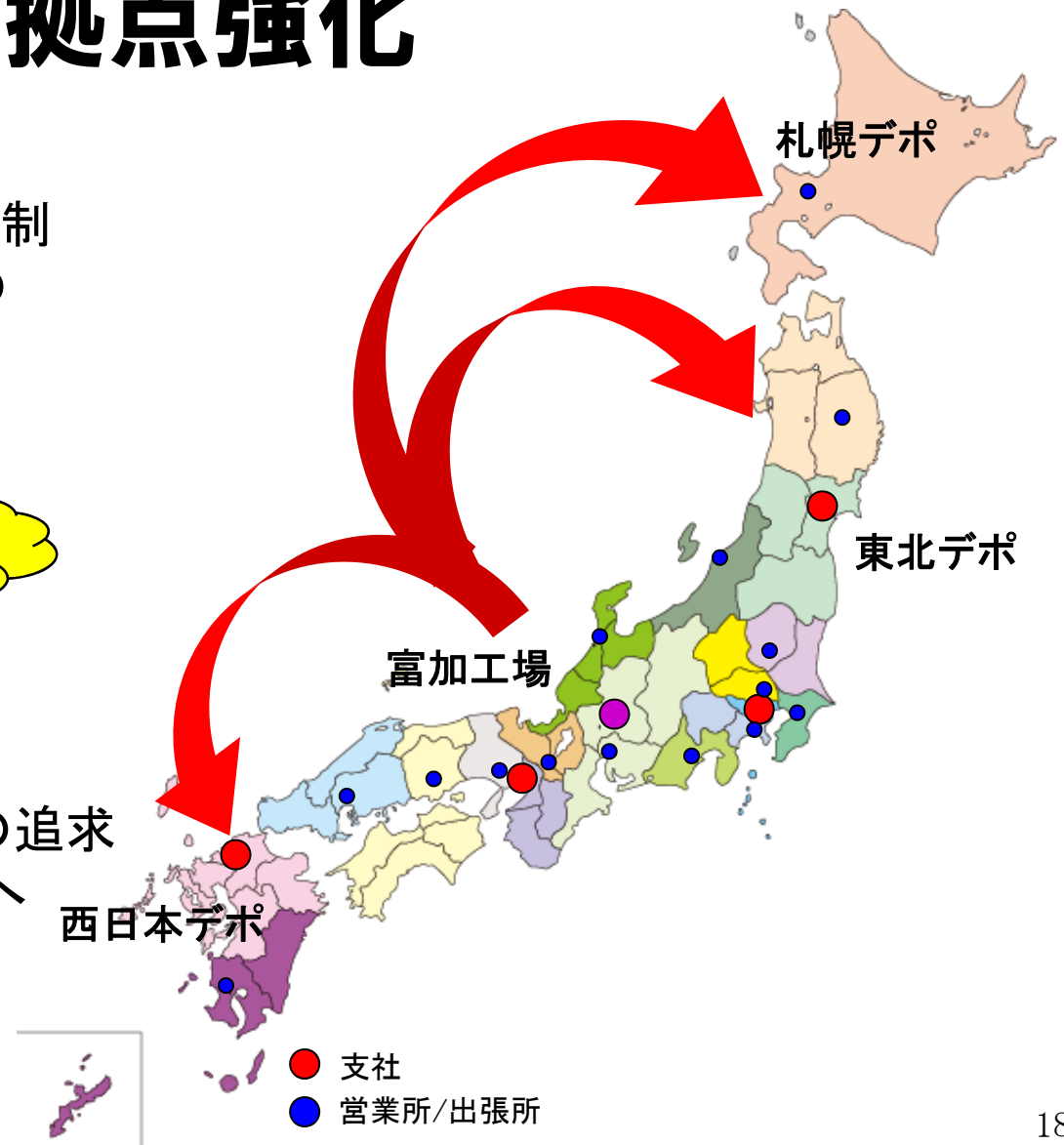
営業・アフター・物流拠点強化

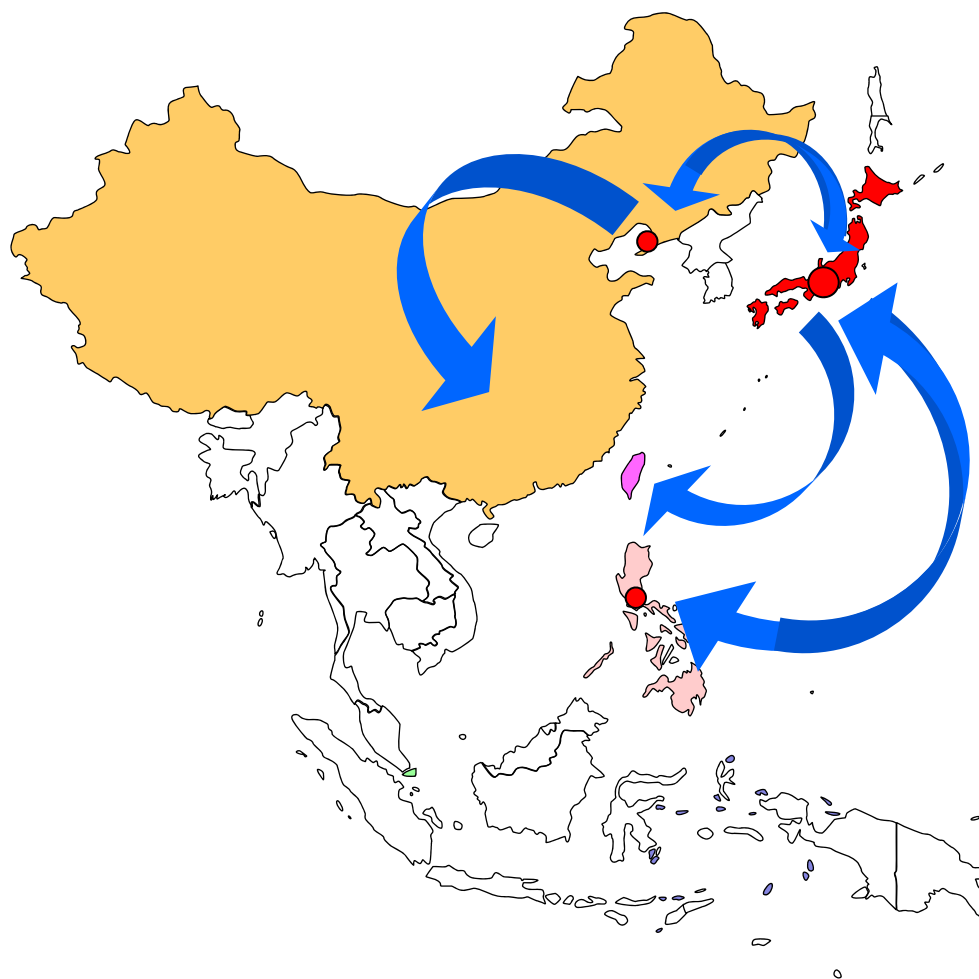
- 4支社15営業所6出張所1駐在所体制
- 富加工場、札幌・東北・西日本デポの4物流拠点
- アフターサービスの充実



“攻めの営業”を展開

- ① 地域に根ざしたきめ細かな営業活動の追求
- ② ユーザーの声を営業活動・製品づくりへ



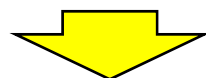


アジア市場を攻める。

6月台湾駐在員事務所開設
10月フィリピン生産子会社設立予定

KPS活動による「マーケットインのモノづくり」

- ① 工程面: 「ジャスト・イン・タイム」
(必要なモノを必要なタイミングで届けるためのモノの流し方)
- ② 作業面: 「自動化」(良いモノを安くつくる)



業界No.1へのこだわり(品質・納期・コスト)



◎成長に向けた基幹設備への先行投資

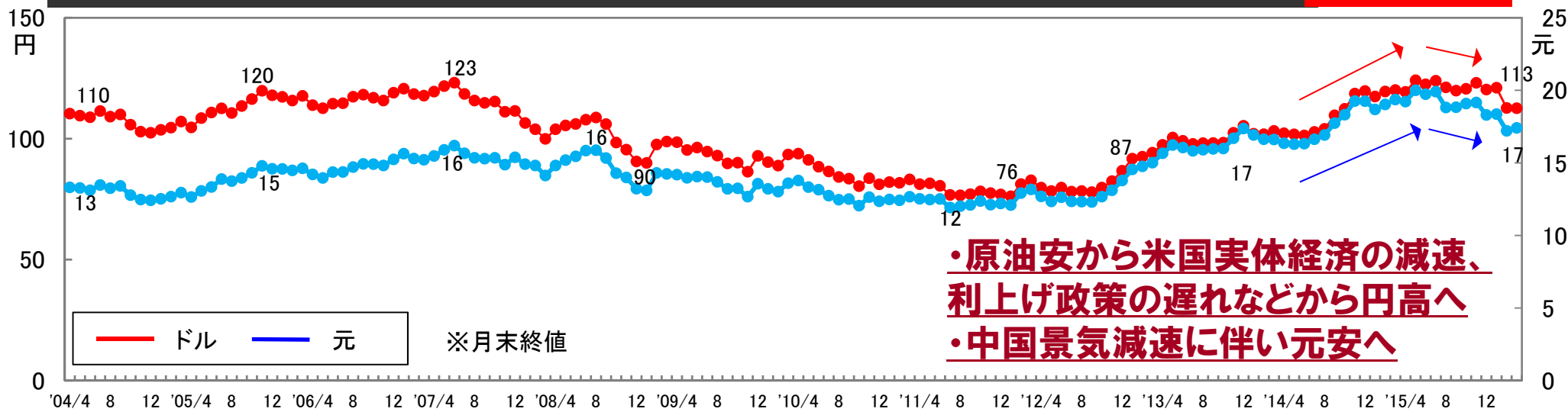
「砂型鑄造設備の新設」

平成28年10月稼働をめざし順調に進行中

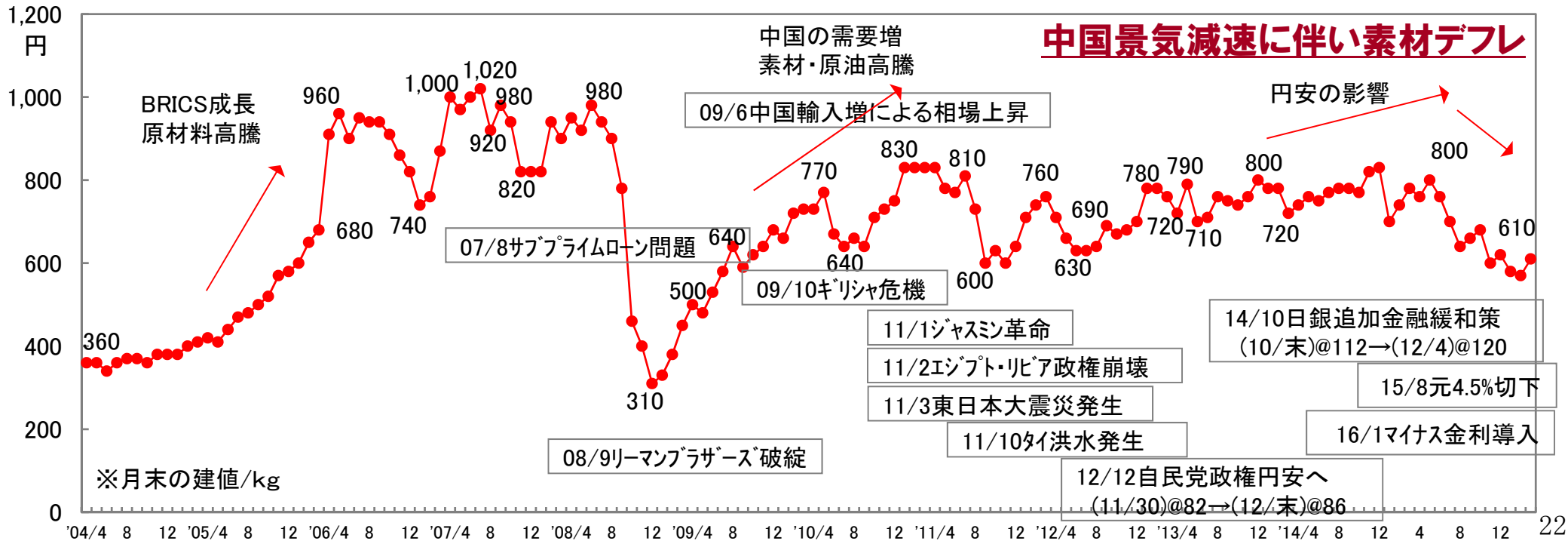
◎本年1月より樹脂めっき設備が稼働

樹脂部品の金型設計・製作から成形・研磨・めっき・組付までの一貫生産体制へ

(市況) 為替・銅価格

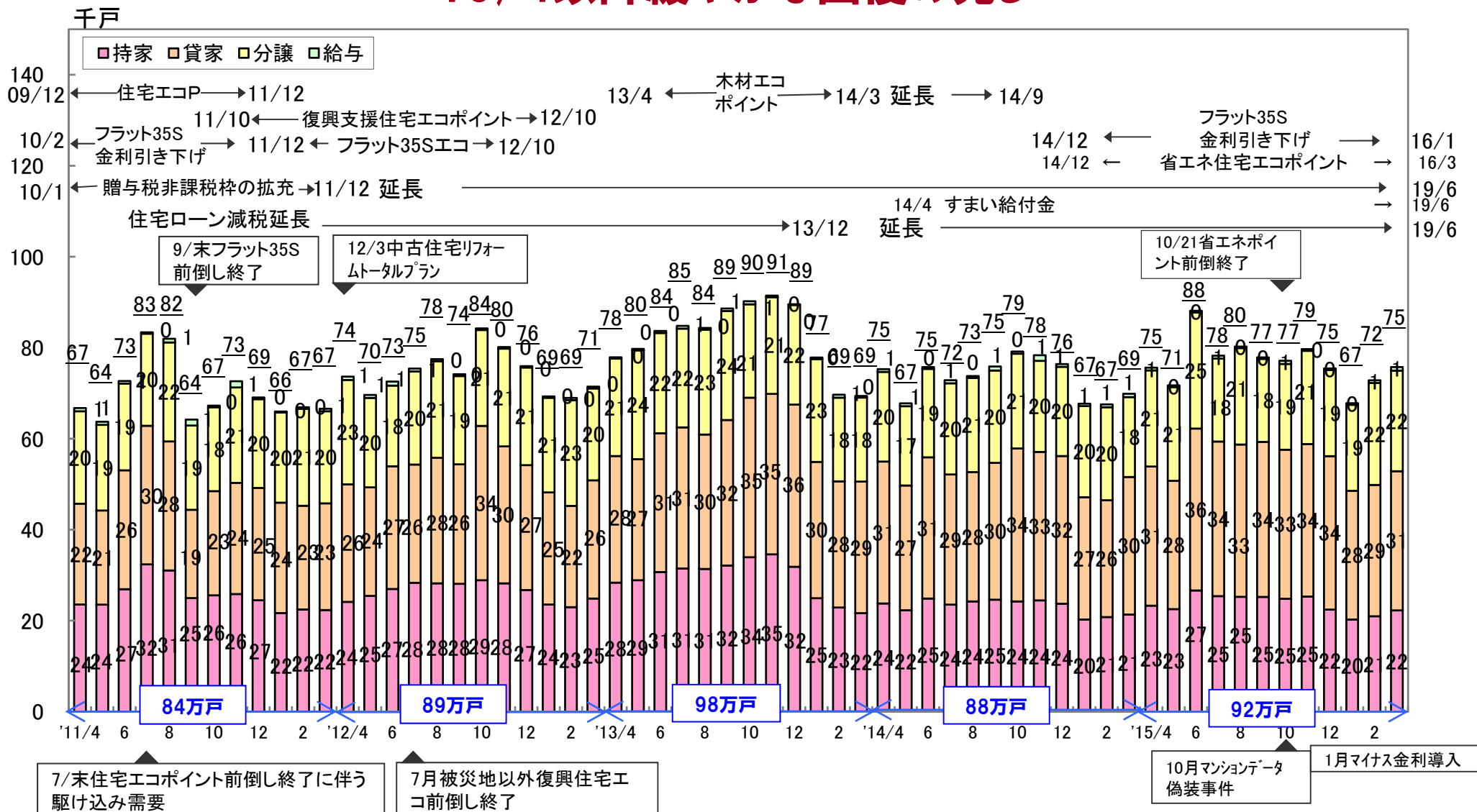


・原油安から米国実体経済の減速、
利上げ政策の遅れなどから円高へ
・中国景気減速に伴い元安へ



(市況) 月別新設住宅市場

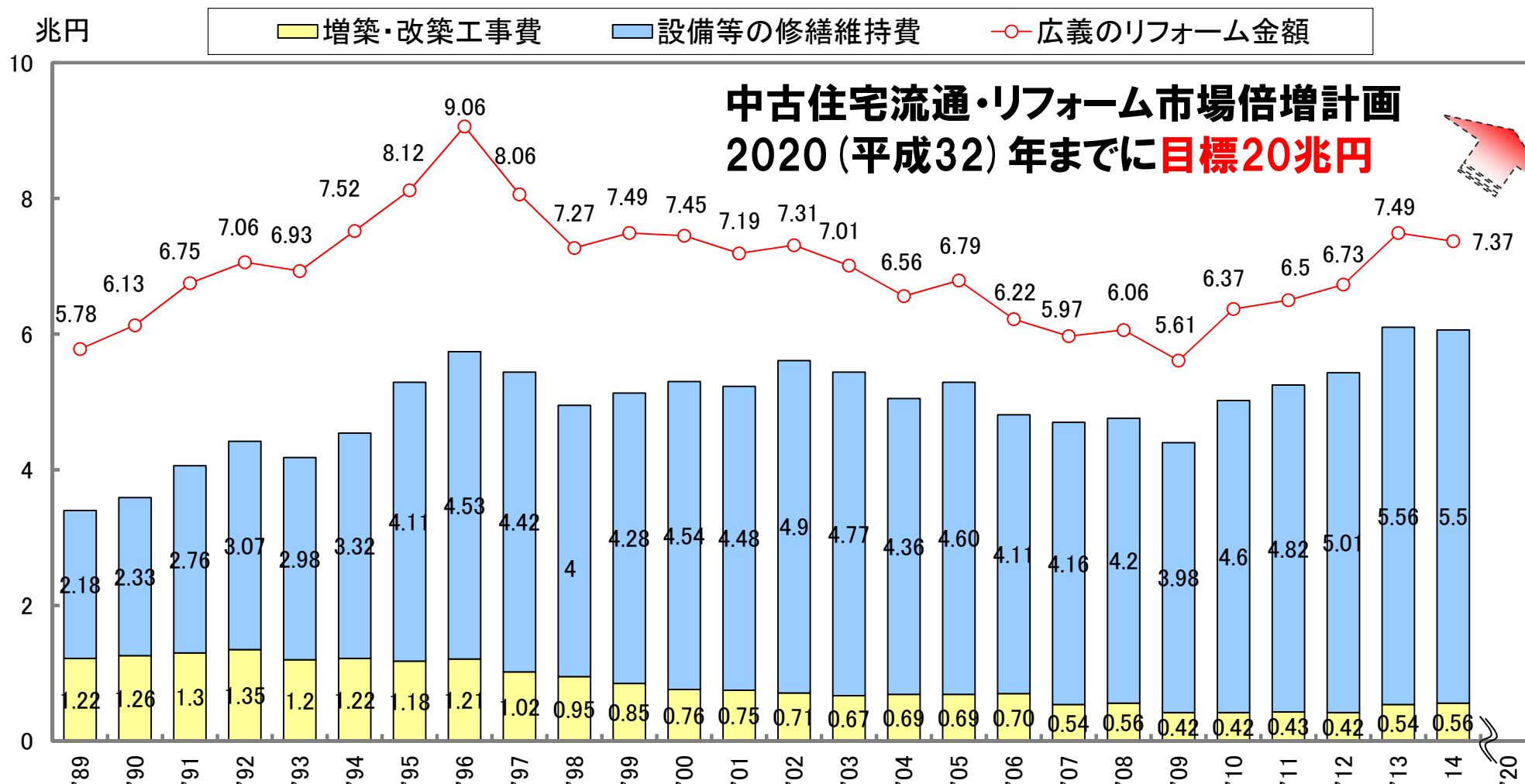
15/4以降緩やかな回復の兆し



※資料：国土交通省

(市況) リフォーム市場

中古住宅・リフォームトータルプラン



※資料: 国土交通省、(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター

リーマンショックに伴う消費低迷の影響

KVK

Creating Value with You

『お客様とともに“快適な水まわり空間”を創る。』

